曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して演奏しよう

（　　　）年（　　）組（　　）氏名（　　　　　　　　　　）

リコーダー作品：変奏曲「　風　」

１　変奏１・変奏２について、どのようなタンギングの発音やアーティキュレーションで演奏したらいいか考えて楽譜に記入しましょう。

どんな風が吹いているのか、イメージしながら奏法を考えてみよう。

☆　主　題　　どんな風のイメージ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【奏法を決めた理由】

【タンギング：　　　】



（１）変奏１　どんな風のイメージ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【奏法を決めた理由】

【タンギング：　　　】



（２）変奏２　どんな風のイメージ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【タンギング：　　　】

【奏法を決めた理由】

　

|  |  |
| --- | --- |
| タンギングの発音 | アーティキュレーション |
|

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 固い音 | 柔らかい音 | さらに柔らかい音 |
| 高音 | ｔｉ | ｄｉ | ｒｉ |
| 中音 | ｔｕ | ｄｕ | ｒｕ |
| 低音 | ｔｏ | ｄｏ | ｒｏ |

 | C:\Users\syupan62\Desktop\2012特集Ⅱ\入稿データ\p51差し替え２.jpg　　【奏法】　　　　　　【記入の仕方】①スタッカート奏法　…スタッカート記号　②ノン　レガート奏法…未記入③ポルタ―ト奏法　……テヌート記号④レガート奏法　………スラ―記号 |

２　授業を振り返りましょう。

1. 曲のイメージもちながら、演奏の仕方について考えることができた。〔できた・まあまあできた・あまりできなかった〕
2. 自分の考えた演奏の仕方を表現することができた。〔十分表現できた・まあまあできた・あまりできなかった〕
3. 学んだことや演奏の仕方について工夫したこと、感じたことを書きましょう。